



▲ 大運動会



「目一杯の愛情で、子どもたちの 生きる力を引き出そう!」

PTA会長 中村 総一郎

盛暑の候、PTAの皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年4月より、PTAのお世話をさせていただくことになりました中村総一郎と申します。経験の浅い者でございますので、皆様のお考えをよくお聞きして、皆様の代弁者・代理人として、PTAの活動を進めて参りたいと思いますので、倍旧のご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

さて、今回の役目を仰せつかるに当たり「子どもの幸せってなんだろう」ということを考えておりますと、この不安定な時代を「生き抜く力」を身に付け、自分らしく生きていく道を見つけることではないかと思ひ至りました。それでは、「生きる力」とは何でしょうか?

古来より、「知・徳・体」ということが言われますが、この言葉を参考にしますと、「知」＝頭脳の明晰さで生きていく子ども。「徳」＝人柄や人望で周囲に支持され生きていく子ども。そして「体」＝体力、精神力の強さで荒波をわたっていく子ども。それぞれのような気がいたします。昨今の社会情勢を見ておりますと、旧来のような、「学力→学歴→よい就職先」という神話に陰りが見え、知は知でも、周囲とコミュニケーションを取っていく賢さ。そして人望(徳)や、気力、精神力(体)といった、いわば「人間力」の要素がより重要になってきているように感じます。そして、この「知・徳・体」を支えるのが私たち親の「愛」のような気がいたします。本年度はこのような考えのもと、子どもたちの人間力のもとである挨拶を推奨する事業、教室の外に出て生きる力を身に付ける手助けになるような事業、さらには、子どもたちの一番の応援団である私たち親が学び合う事業等を行っていきたくと企画しております。「愛情の反対は無関心」とも言われます。ぜひとも、家庭の場で、PTAの事業の場で、よりいっそうの、子どもたちへの愛ある関わりをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

先生方も、子どもたちに全力でぶつかってくださっています。先生方、PTA会員、皆で力を合わせて、それぞれの子ども「生きる力が花開く」野村小学校にしていきたいと思います!



▲ 稚鮎の放流(2年)

平成24年7月20日発行

第128号

CONTENTS

平成24年度教職員紹介	2～3
大運動会	4～5
PTA親子活動	6
PTA教育講演会&子育て座談会	7
～子どもの幸せは、親子のふれあいから～	
お知らせ	8

1年生グループ



学校運営グループ

食育推進グループ



3年生グループ



平成24年度

い きいき、学ぶ子
わ くわく、活動する子
せ っせと、仕事する子
の のびのび、運動する子

教職

きめ細かな学習と国際理解教育推進グループ



学校を支えるグループ



用務員
谷口 三津子

事務員
坪西 一美

用務員
井上 勝弘

用務員
澤本 八重子

事務員
梅基 順子

健康推進グループ



養護
紫藤 美智子

養護
桶家 美佳

特別支援グループ



通級指導
深松 慶子

つくし
川東 恵子

たんぽぽ
松澤 弓月

4年生グループ



4-1
川口 真紀

4-2
中村 泰知

4-3
堀田 洋子

5年生グループ



5-2
上田 伊通子

5-4
若林 麻理子

5-3
越後 靖子

5-1
大島 一行

6年生グループ



6-3
下村 晃世

6-2
冬木 昌美

6-4
高田 教一

6-1
廉 千明

員紹介

自分の考えをもち
真剣に学び合う
子どもの育成

よき伝統を築く 野村っ子に

校長 稲垣 妙子



6月13日5限目、全校児童による合唱「たんぽぽ」の美しく力強い響きが体育館を包み込みました。

♪ 雪の下にふるさとの夜 冷たい風と土の中で
青い空を夢に見ながら 野原に咲いた花だから
どんな花よりたんぽぽの花をあなたに贈りましょう

※ 繰り返し

高い工場の壁の下で どれだけ春を待つでしょう
数えた指を優しく開き 空き地に咲いた花だから
どんな花よりたんぽぽの花をあなたに贈りましょう

※ 繰り返し ♪ 門倉 諒 作詞・堀越 浄作曲「たんぽぽ」より一部抜粋

1年生の入学を祝った「笑顔いっぱいみんな仲良し集会」へ向け、1年生が笑顔になるよう各学年が分担して準備を進めてきました。その締めくくりの場面、子どもたちの大好きな「たんぽぽ」の合唱から「やるときはやる」という「野村っ子」のエネルギーとたくましさ伝わったのでした。

さて今年度は、学校運営重点目標「自分の考えをもち、真剣に学び

合う子どもの育成」のもと、アクションプランの1つに「進んであいさつができる」を掲げました。PTAでも「安全・安心・あいさつ」環境のバックアップを方針の1つとし、「愛を広めるあいさつ運動」を推進してくださっています。あいさつは人と人をつなぐコミュニケーションの第一歩。将来の自立に向けて社会性を育むためにも、ぜひ小学生のうちに身に付けさせたいと考えます。

朝、登校時に、1年生の手をしっかりとつなぎ、その小さな歩幅に合わせて児童玄関まで付き添ってくれる6年生を見ます。安全に気を付け、集団登校の列が乱れないよう注意しながら歩く5年生もいます。元気いっぱいのあいさつをして爽やかな一日をスタートする子どもたちもいます。しかし一方で、登校の様子やあいさつの仕方が心配な子どももいます。下級生を思いやる心があふれた姿や爽やかなあいさつが学校中に広がってくれればと願っています。自然にあいさつを交わし温かい言葉をかけ合う心豊かな「野村っ子」になることが、野村小学校の歴史を受け継ぎ、新しい伝統を築くことにもなると考えています。

地域やPTAの皆さまには、日頃、子どもたちの安全確保や充実した教育活動推進のために、多大なご支援ご協力をいただいております。ここに改めて深く感謝申し上げます。教職員一同、今年度も一生懸命取り組みますので、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。